

プレスリリース

Beauties in Ukiyo-e

From Harunobu to Utamaro and further to Kiyokata

はんび浮世絵
プログラム2019

春信から歌麿、そして清方へ

美人画の時代



1. 喜多川歌麿「青楼七小町 玉屋内 明石 うら次 しま野」
寛政6~7年(1794~95)頃、大判錦絵、神奈川県立歴史博物館蔵〔後期展示〕

町田市立国際版画美術館
Machida City Museum of Graphic Arts

2019 10.5^土~11.24^日

前期: 10月5日(土)~27日(日) 後期: 10月29日(火)~11月24日(日)

十八世紀後半、浮世絵の「黄金期」を彩った美人画。

春信、春章、清長、歌麿、栄之…

愛され続けるスター絵師の活躍をご紹介します。

右上: 鳥居清長「風俗東之錦 風糸の縫れ」(部分) 天明3~4年(1783~84)頃、大判錦絵、回向院蔵〔前期展示〕

数々のスター絵師が活躍した、18世紀後半の浮世絵界。天明・寛政（1781-1801）を中心とするこの時期は、いつからか浮世絵史の「黄金期」として親しまれてきました。その中心となったのが、人物を美しく生き活きと描いた「美人画」です。鈴木春信以降、磯田湖龍斎、勝川春章、鳥居清長、喜多川歌麿、鳥文斎栄之ら、個性豊かな絵師が次々と登場し、理想の美人像を追い求めました。

描かれたのは評判の遊女や町娘、若衆と呼ばれる若い男性、愛情あふれる母子や恋人たちの姿。さらに憧れの的でもあった女形の「役者絵」や、人間の性愛を時に美しく描いた「春画」にも美人表現がみられます。

本展は、この「美人画の時代」の軌跡を、約230点の版画、版本、肉筆画で辿るものです。時を経て、天明・寛政が「黄金期」として高く評価されてゆくなか、^{かぶらききよかた} 鍋木清方や^{うえむらしやうえん} 上村松園ら近代の画家たちが往時の美人画に想を得ていたことにも目を向けます。「黄金期」の美人画とは何だったのか—、その普遍的な魅力を現代のわたしたちの視点を通してみつめます。

みどころ その1!

黄金期の版画や肉筆画が勢ぞろい!

近年ますます関心を集めている「春画」の名品も展示!

(※「春画コーナー」は、18歳以下はご覧いただけません。)



3. 喜多川歌麿「納涼美人図」(重要美術品) 寛政6-7年(1794-95)頃、絹本着色、千葉市美術館蔵[前期展示]

みどころ その2!

ふるさと納税「町田市立国際版画美術館に『歌麿』を呼ぼう!」の寄附者への感謝を込めて、収蔵した歌麿作品を展示します。当館コレクション初の歌麿作品です!

みどころ その3!

会期中、関連イベントがもりだくさん!

「リピーター割引」や「着物割引」など各種割引も実施します。(詳細は当館HPに掲載)



4. 喜多川歌麿『歌まくら』天明8年(1788) 大判錦絵12枚組折帖、浦上満氏蔵[通期展示、ただし頁替あり]

輝ける、
浮ける、
世絵
黄金期

～展示構成(予定)～

1章 黄金期美人画の系譜

- 1 錦絵のはじまり
- 2 リアルを求めて
- 3 花開く黄金期
- 4 かがやきの頂点

2章 黄金期美人画をめぐる3つのまなざし

- 1 誰を描いているのか—個性の表現
- 2 俗か雅か—パトロン、文化人との交流
- 3 女か男か—役者絵から春画まで

3章 「わたしたち」の浮世絵黄金期

- 1 明治の江戸回顧—清方のみた「江戸」
- 2 大正、昭和の美人画家たち



2. 喜多川歌麿「婦女人相十品」文読む女 寛政4-5年(1792-93)頃、大判錦絵、太田記念美術館蔵[後期展示]



5. 鈴木春信「鞠と男女」明和4年(1767)頃、中判錦絵、千葉市美術館蔵[前期展示]

～関連イベント～

①記念講演会1「美男？ 美女？ “美人” 画は浮世絵に咲く大輪の花！」

講師：樋口一貴（十文字学園女子大学准教授・本展企画協力者）
10月20日（日）午後2時～3時30分／先着100名

②記念講演会2「歌麿美人画の特質と影響」

講師：大久保純一（当館館長）
11月9日（土）午後2時～3時30分／先着100名

③浮世絵の技に触れる一摺の実演と解説

講師：公益財団法人 アダチ伝統木版画技術保存財団
10月6日（日）（1）午前11時～午後12時30分 （2）午後2時～3時30分
各回先着50名

※①～③はいずれも1階講堂にて／要本展観覧券（半券可）

④家族鑑賞会

講師：富田めぐみ（NPO 法人 赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事）
10月12日（土）（1）午前10時15分～11時30分（対象：0歳～3歳）
（2）午後1時15分～2時30分（対象：4歳～小学生）／いずれも保護者同伴／事前申込制
（各回先着15組）／保護者の方は当日有効の観覧券をご用意ください。

⑤復刻浮世絵版木・摺り体験

指導：当館学芸員
11月2日（土）、3日（日）
（1）午後1時30分 （2）午後2時30分 （3）午後3時30分
各回30分程度／対象：小学5年生以上／事前申込制（各回先着10名）／参加費：200円

※④・⑤のお申し込み方法は当館ホームページ、もしくはお問い合わせ先よりご確認ください。

⑥スペシャルギャラリートーク「肉筆美人画の魅力ー復元研究を通してー」

講師：向井大祐（東京藝術大学大学院保存修復日本画研究室教育研究助手）
11月10日（日）午後2時～3時

⑦担当学芸員によるギャラリートーク

10月13日（土）、11月4日（月・振休）各回午後2時から45分程度

※⑥・⑦はいずれも2階企画展示室にて／要観覧券（当日有効）

⑧プロムナード・コンサート「浮世絵と響きあう音楽 -和と洋の楽器で-

演奏：服部恵美子（箏・三絃） 近藤ひかり（フルート・ピアノ）
11月16日（日）（1）午後1時～ （2）午後3時～ 各回30分程度
エントランスホールにて（お席の用意はございません）

★10月26日（土）、27日（日）は、第21回ゆうゆう版画美術館まつりを開催！

★毎週水・土曜日はトークフリーデー！



6. 鳥居清長「風俗東之錦 風糸の縫れ」
天明3-4年（1783-84）頃、大判錦絵、
回向院蔵〔前期展示〕



7. 鳥居清長「隅田川渡し舟」天明7年（1787）頃、大判錦絵三枚続、
山口県立萩美術館・浦上記念館蔵〔後期展示〕



8. 鳥文斎栄之「青楼美人六花仙 丁子屋雛鶴」
寛政5-6年（1793-94）頃、大判錦絵、
神奈川県立歴史博物館蔵〔前期展示〕



はなび浮世絵プログラムとは・・・

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、毎年テーマを変えて浮世絵展を開催する
展覧会プログラム。本展はその第三弾。

～展覧会概要～

■ 展覧会名

美人画の時代—春信から歌麿、そして清方へ—

Beauties in Ukiyo-e: From Harunobu to Utamaro and further to Kiyokata

■ 企画協力

樋口一貴氏（十文字学園女子大学准教授）

■ 会期

2019年10月5日（土）～11月24日（日）

※会期中、展示替をおこないます。

前期：10月5日（土）～27日（日）／ 後期：10月29日（火）～11月24日（日）

■ 休館日

月曜日

ただし10月14日（月・祝）・11月4日（月・振休）は開館し、10月15日・11月5日（火）は休館します。

■ 開館時間

平日 10:00～17:00（入場は16:30まで）

土日祝 10:00～17:30（入場は17:00まで）

■ 観覧料

一般＝900（700）円、大・高生、65歳以上＝450（350）円、中学生以下は無料

*（ ）内は20名以上の団体料金。

*身体障がい者手帳、愛の手帳（療育手帳）または精神障がい者保健福祉手帳をご提示の方と付き添いの方1名は半額です。

*10月5日（展覧会初日）、11月3日（文化の日）は入場無料です。

*各種割引あり。詳細は当館HPをご覧ください。

■ 主催

町田市立国際版画美術館

■ 助成

芸術文化振興基金

鳥居清長「隅田川渡し舟」(部分) 天明7年(1787)頃、大判錦絵三枚続、
山口県立萩美術館・浦上記念館蔵 [後期展示]



内覧会のご案内

一般公開に先立ち、下記のとおり内覧会を開催いたします。
ご多用とは存じますが、ぜひご出席賜りますようご案内申し上げます。

報道関係の皆様のご出席をお待ちしております。

日時：10月4日（金）午後3時～5時

会場：町田市立国際版画美術館



喜多川歌麿「納涼美人図」(部分) (重要美術品) 寛政6-7年(1794-95)頃、絹本着色、千葉市美術館蔵 [前期展示]

お問い合わせ先

町田市立国際版画美術館（〒194-0013 東京都町田市原町田 4-28-1）

展覧会担当／村瀬可奈（むらせ かな） 広報担当／藤村拓也（ふじむら たくや）

電話 042-726-0860 FAX 042-726-2840

メール bunsपो040@city.machida.tokyo.jp

※広報用に本プレスリリース掲載の画像データ、およびプレゼント用招待券を用意しております。

ご利用いただける際は、広報担当・藤村までメールか電話にてご連絡ください。

※ご希望の画像番号1～8をお知らせください。

同時開催 「美の饗宴—西洋の美人像」 9月26日（木）～12月22日（日） 常設展示室 入場無料



町田市立国際版画美術館

Machida City Museum of Graphic Arts

公式ホームページ <http://hanga-museum.jp/>

公式ツイッター [@machida_hanbi](https://twitter.com/machida_hanbi)

